

5. 安全で安心な指示の実施ができるための取り組み

金沢大学附属病院 中西 悦子

【背景】

平成 22 年 2 月より、紙指示書で行っていた「指示出し・指示受け」が電子カルテシステム運用となった。医師はいつでも院内どこからでも指示だしできる環境となり、指示に関するデータ収集も可能になった。電子カルテシステムへの変更にあたり、医師・看護師間で話し合い「翌日の指示は、前日の 15 時までにオーダー入力を完了する」をルールとした。これは、翌日の検査・治療が予定通り実施できるための準備や患者への説明と対応を確実にを行うためのものである。しかし、5 月に行った調査では、病棟における指示総数約 2400 件/日に対し、ルールは 25%程度しか守られていなかった。また、「15 時以降に指示を入力した場合は、看護師に連絡する」というルールに関しても、時間外指示約 1789 件/日に対し、連絡件数は 251 件、連絡率は 14.0%であり、看護師に連絡もなく指示が入力されている現状であった。その結果、連絡がないため指示が出たことに気づかず、重要な検査・治療が実施されない、指示受け漏れにならないかと看護師が何度も指示を確認する作業が生じ、業務が煩雑になるなどの影響が出た。そこで今回、指示出し指示受けシステムで生じている問題を明確にして、ルールが守られ、患者に安全で安心な指示の実施ができることを目標に取り組むこととした。

【実践計画】

1. 指示総数・時間外指示件数・日中の指示出し件数を集計する
2. 指示だし指示受けに関する問題について各部署調査する
3. 原則が守られなかったことによって生じたインシデント・ヒヤリハットについて調査する
4. 施設訪問を行い、指示受け指示だしシステムの実際と、指示受け業務に関する取り組みについて情報収集し、当院で参考にできる方法について考える
5. 多職種と指示システムに関する現状と問題点について情報共有し、安全に指示だし指示受け指示の実施ができるための方法を検討し実践する

【結果】

1. 調査期間：平成 22 年 7 月～平成 23 年 3 月
平均指示総件数 2080 件/日、平均時間内指示件数 483 件/日 (23.2%)、平均時間外指示件数 1597 件/日 (76.8%) (表 1.)

表 1. 時間内指示の割合

月	指示平均総数	時間内指示件数	時間外指示件数	時間内指示率 (%)
7 月	2087	496	1591	23.7
8 月	2000	489	1511	24.4
9 月	1979	459	1520	23.1
10 月	1913	471	1442	24.6
11 月	1808	410	1398	22.6
12 月	2057	461	1596	22.4

1月	2285	501	1784	21.9
2月	2348	519	1829	22.1
3月	2247	541	1706	24.0
平均	2080	483	1597	23.2

平均時間外指示件数 1597 件/日、そのうち日中の指示平均件数 900 件/日 (55.3%)
(表 2.)

表 2. 時間外指示の日中の割合

月	時間外指示件数	日中の指示件数	日中の指示率 (%)
7月	1591	855	53.7
8月	1511	823	54.4
9月	1520	843	55.4
10月	1442	778	53.9
11月	1398	775	55.4
12月	1596	905	56.7
1月	1784	1024	57.4
2月	1829	1069	58.4
3月	1706	1031	60.4
平均	1597	900	56.3

2. ルールを知らない医師がいる、ルールを守らない医師に看護師が協力を求めても改善されない、時間外指示だしの連絡がなく薬剤投与が遅くなったなどがあった
3. 調査期間：平成 22 年 2 月～平成 23 年 1 月
指示出し受け受けに関するインシデント 27 件中、時間外指示に関するインシデント 13 件
4. 研修医交代時に指示に関するルール厳守について説明する、原則を守られていない医師個人を調査し公表するなどが効果的であるという情報を得た
5. 医師・看護師・薬剤師・医療情報担当者・事務・ベンダーをメンバーとするワーキングが平成 23 年 2 月から 1 回/月開催され、指示に関する問題について多職種と検討できる場ができた

【評価及び今後の課題】

1. 看護の現場の把握・データ収集・評価を計画的に行った結果、関係する会議で周知を促し継続的に問題解決に取り組む
2. 電子カルテシステム更新後の効果を評価する